

**【一般口演4】 第11席****『太素』の由来**

兵庫 小寺 敏子

東洋の古来の医学として『素問』『靈樞』を自習している間に、その前段階の書である『太素』の復刻版（1955年[昭和30年]）が中国より輸入されて、この秘宝となっいる最古の医書を初めて観ることができた。その例言(序文)として蕭延平氏が『太素』の由来を述べられているのを尼崎の東洋医学研究所で解説するように要求された。ちょうど当時、小曾戸丈夫師の同書の意訳が発刊されたところで、それには『太素』の本文だけで、求めている例言が見当たらなかった。そのため杜撰ながら振り仮名を付けて訳読し、この『太素』が日本と中国の文化交流に古代から由来することの重要性を知ることができたので、これに就いて述べたいと思う。